

「日本から世界へ。世界から日本へ」  
 2003東京国際家具見本市(IFTT2003)開催

「2003東京国際家具見本市」(IFTT 2003)が開催された。19回目となる今回は前回は1万5000人以上上回る6万7887人が来場した。会場は「国内&インテリア」「アジア」「ヨーロッパ」「ワールド」の四つのパビリオンに分けられ、国内247社、海外365社が出展した。特に今回は、日本から海外へ家具をアピールしようとする「ASIAN NEXT」など、海外市場を視野に入れた輸出促進コーナーが設けられた。

国内の出展社の中では、徳島県の鏡台に突き板を貼る技術を採用した大久保椅子製作所の製品など、日本の伝統的な技術で、現代的な家具に応用したものなどが注目を集めていた。家具製作が盛んな地域で共通の問題として、技術者の高齢化があるが、内外の来場者に独自の技術をアピールする機会として見本市は有効だったようだ。

また、海外からは、イタリア、中国、台湾からの大規模な出品が見られた。国際家具産業振興会によると、アジアからの出展国は29カ国におよび、特に中国からの出展社数は前年より11社増の54社に上ったと言う。

会場/東京国際展示場(東京・有明)  
 会期/2003年11月26日~29日



1. 広島県の家具メーカー「森上木工」のシステム家具「ペリアス」D: 飯田吉秋 自動車のボディなどに利用される光により色が変化して見える日本ペインのマジョーラ塗装を施し、その特徴を引き出す曲面のデザインとしている

2. インテリアデザイン事務所の「オートマティックススタジオ」と特殊金物製作の「ディー・ナイン」とのコラボレーションで生まれた「ドラゴンライン」のディスプレイテーブル アルミなど金属の表面に曲線を描く特殊加工を施し、クリア塗装をしている

3. 徳島県の大久保椅子製作所の「ソロタイプII」のローズウッドモデル D: 川崎文男 鏡台に突き板を貼る技術を採用し、背板から座面まで木目が通るように突き板をアイロンで手貼りしている

4. フィリピンのペーパーアイテムを取り扱う「A Greeting Card Co.」の照明器具 D: Tony T. Gonzales 日本人に和紙のつくり方を学び、フィリピンの繊維と水に合わせてアレンジしたオリジナルのフィリピン和紙を使用している



3



4

### ドラゴンラインがデザインする家具が、世界に先駆けて、いよいよ東京でお目見えです

インテリアデザインオフィス/オートマティックスタジオ(東京 港区.代表=小林雅樹)と、特殊金物制作オフィス/ディーナイン有限会社(東京 品川区.代表=石井和憲)がコラボレーションし、活動を開始してはや2年。昨年の2002東京国際家具見本市( IFFT 2002 )に実験的に出展し、家具業界又その他各方面の方々から、多くの反響を頂きました。雑誌「TITLE」「家具コレクション」等にも掲載され、今回本格的にブランド名を<ドラゴンライン>として、オリジナル家具のデザイン・製造・販売を始めました。その第一弾として、11月26日から29日まで東京ビックサイトで開催される「2003東京国際家具見本市( IFFT 2003 )」で発表します。是非、<ドラゴンライン>が提案する次世代の美意識をご覧ください。

<ドラゴンライン>の特徴はオリジナル材料にあります。

- 1.スチール・ステンレス・アルミ・銅・真鍮の素材にオリジナル特殊加工
  - 2.深み、奥行きを表現することで、光の乱反射、光の屈折により、見る角度で表情が変わる
  - 3.仕上げはクリアーカラー塗装で、色配合によりオリジナルカラー(無限)で仕上げ
- 以上の材料は<ドラゴンライン>独自のオリジナルです。世界に1つしかない、いままで目にしたことのない驚きと感動を与えます。

デザイナーのオートマティックスタジオ小林雅樹・田代真己は、G-ZONE「ZEST」(グローバルダイニング)のショップデザイン(デザイン/グローバルダイニング+オートマティックスタジオ)を担当した、実力派のデザイナー。

今回発表する「ゼロシリーズ」は、ダイニングテーブル、コンソール、ミラー、ライト、シェルフユニット等の11点。価格は75,000円から300,000円と幅広い価格。今回のIFFT2003出品をきっかけに、東京、大阪などの大都市を中心にセールスを行うことにしています。

<ドラゴンライン>は国外にも目を向けていて、ミラノフェア(ミラノ)、100%デザイン(ロンドン)の出品を来年から再来年にかけて出展準備中。また、上海、香港等のアジア進出も計画中。

IFFT2003での当社のブース番号は「6-14」です。



<報道関係者の皆様へお願い>  
 この資料を記事としてご採用いただけた場合は、誠に恐縮ですが、掲載紙(誌)を下記までご送付くださいますようお願い申し上げます。またお問い合わせに関しても、以下で受け付けさせていただきます。

ドラゴンライン広報担当 田代 真己  
 105-0011 東京都港区芝公園2-12-17 第9バックスビル 3F  
 TEL 03-5404-0886 FAX 03-5404-7520  
 e-mail:info@dragonline.jp  
 http://www.dragonline.jp



### DRAGONLINE FURNITURE MAKE LONG-AWAITED DEBUT IN TOKYO IN LINEUP TO THE WORLD!

It's almost two years since Automatiq Studio(Interior Design Office) built Collaboration with D9(Special Hardware Company) and we submitted some items to an exhibition "IFFT 2002" experimentally last year. Then we got great feedback from furniture industry and also through other channels.

Our furniture is printed in "Title" magazine and "KAGU Collection" magazine this year and we hit the ground running as "DRAGON LINE". This entry is an official debut to us, please see our own notions of beauty of the generation.

The main characteristic of our products is original material as below,

1. Steel, Stainless, Aluminium, Copper and Brass with a special built in feature.
2. Create a marvelous sense or depth and length, diffused reflection of the light and reflection of the light make a change in facial expression.
3. Clear color coating finish and original color(Infinite) finish by color combination.

The above world's only material gives you fresh surprise and sensation.

Masaki Kobayashi and Maki Tashiro are competent designers who designed "ZEST" restaurant in G-zone that Global Dining runs.(design/Global Dining+Masaki Kobayashi・Maki Tashiro)

"ZERO" Series released this time is 11 items, a dining table, a console, a mirror, a floor stand and a shelf unit. Our products are sold in a wide range of price between 70000 yen to 300000 yen. In the wake of this exhibition, "ZERO" series is marketed in Tokyo and Osaka. Also, We are under preparation to submit at "Milan Fair"(Milano) and100% Design(London) and are planning to sell in Shanghai and Hong-Kong.

Our booth No. is "6-14" at IFFT 2003.



To whom it may concern,  
 If you kindly put this article or the picture on your issue, could you please send the issue to the following.  
 Please feel free to contact us. Thank you very much.

DragonLine PRESS maki tashiro  
 no.9 BACCHUS BLD 3F 2-12-17  
 SHIBA-KOHEN MINATO-KU TOKYO JAPAN 105-0011  
 TEL +81-3-5404-0886 FAX +81-3-5404-7520  
 e-mail:info@dragonline.jp  
 http://www.dragonline.jp

